



育成だより

第 8 号

平成3年5月31日
貝塚中学校区
青少年育成委員会

創立以来の伝統を大切に

貝塚中 加曽利貝塚クリーン作戦

貝塚中では、全校生徒が桜木町の加曽利貝塚で、文化財保護、公園の美化、勤労奉仕の精神をはぐくむ一環として、毎年県民の日の記念行事として生徒の手によって清掃奉仕クリーン作戦を実施している。

ことは、朝からまぶしい日差しが注ぎ、汗ばむ陽気。トレーニングウェア姿の生徒たちは先生とともに同貝塚に散らばり、それぞれビニール袋やホウキを手に、雑草を抜いたり、ゴミを拾い始めた。時折、歓声も響いて生徒たちは、約二時間たっぷりの奉仕の汗を流した。

貝塚中では、日本最大の規模を誇る加曽利貝塚に、大勢の人が見学に来るので、美しくして見学者の心を温めてあげようと清掃に従事している。昭和五十九年創立以来、先輩たちの伝統を大切にし、今回で八回目、地域の人たちからも喜ばれている。

又、夏休みには、地域の人たちとのふれあいを深めながら、クリーン作戦を推進しようと、計画している。

本年度重点目標

青少年を「シンナー」

から守ろう



貝塚中学区青少年育成委員会

会長 田 中 信 夫

青少年の健全育成に役立ちたい
と「愛の一声」運動から始まり、
悪書追放、自動販売機の完全撤去
等、地域の皆様、各団体の方々の
ご協力をいただきながら、これら

の活動を推進してまいりました。
今年度は、数年来からの課題で
ある青少年を「シンナー」から守ろ
う」を、重点目標に地域住民の方
々にも呼びかけ、諸団体と連携を

決 議 文

私たちは、学校、家庭、及び地域社会の連携により、
わが国の将来を担う青少年の健全育成を推進し、たく
ましく成長することを願う次の課題に取り組みます。

一、子どもに悪影響を与える図書類等自動販売機の追
放運動を積極的に推進する。

一、シンナー等有機溶剤が青少年の手に入らないよう
な環境づくりを推進する。
右、決議いたします。

平成三年二月六日

千葉市青少年育成委員会会長会



とりながら別項のような会長会に
おいての決議やシンナー追放ポス
ター等も作成し、この活動に取り
組んでおります。

現代の時代的背景も、物質時代
から、心のふれあい、心を大切に
する時代、自然を大切に作る時代
を求めています。こうした中、
「シンナー」は、健全な身体を蝕
み、人間失格という状況に追い込
んでしまっています。

地域、学校、家庭ともに助け合
い、「シンナー追放」を粘り強く
進めていきたいと思えます。
皆様のご協力を心からお願いい
たします。



青少年育成委員会

東部ブロック研修会

十一月 貝塚中で開催

青少年育成委員会東部ブロック
研修会を十一月十七日に貝塚中が
当番校となり開催することが決ま
りました。

一、目的

(1)市内の学校数が増加すると
もに、青少年の非行問題が多く
の学区に関連するようになり、
単独では対応しきれない場合に
多くなってきたことと、地域に
より類似した問題を抱える傾向
にあること等から、同地域の育
成委員会が互いに協力、連携し
合って青少年の健全育成を図る
ため。

(2)地域住民への青少年の健全育
成の啓発と委員相互の研修を深
めるため。

二、研修予定日

平成三年十一月十七日(日)

午後一時より

会場 貝塚中学校 体育館

対象 育成委員、各学校PTA

地域住民

平成二年度 育成委員会活動報告

健全育成部会

子供会も十五年になります。

たくさんの子供達とめぐり逢い多くの方々と話し語り合いました。

子供達のなんと純粋なことか叱りながら感激の連続でした。

私自身もそうだったように人生の師は、親なんです。また友達でもありました。その地域の中でのふれあいは、十年二十年の長いおつき合いです。つい大人の私達は今は最高で総てと錯覚してしまふんですね。その錯覚している大人、小人が多いこと。生涯勉強なのに。ふりかえると子供達が、見ているのです。頑張らなくては!!

(石井 泰明)

環境対策部会

違法駐輪・駐車・空家調査・シンナー遊び場所の実施調査をした。夏休期間中に各遊技場の責任者と話し合い、遊技場の立入制限する等の相談をし対策を講じた。

又冬休みにはシンナー乱用場所特に空家公園内トイレ等の乱用場

所を重点的に実施調査をした。

都賀駅付近の違法駐輪・駐車は随時指導し、現在では実施前よりも違反台数が減少し効果があったものと推察する。(大塚 正秋)



非行対策部会

非行対策部の活動は、大きく分けて3回ありました。

一つは八月九日都賀コミュニティセンターにて千葉東署の菊池防犯課長を講師にお願いして「子供達をシンナーから守る映画と講演の集い」と題して講演会と映写会を実施しました。

あいにくの雨などで、参加者が少なかったのは残念でしたが、内

容等は非常に濃く大いに勉強になりました。残りの二つは夏休み・冬休みの学区のパトロールを実施し特別な問題もなかったようです。(戸村 直人)

レクリエーション部会

真夏の太陽のふりそそぐ八月二十六日(日)午前八時より、貝塚中学校庭においてグランドゴルフ大会を開催いたしました。二十余名の参加者の皆さん、暑さも忘れ、ゴルフに熱中し、気持ちのよい汗を流して、無事終了しました。

二月十六日(土)十七日(日)鬼怒川方面への一泊の親睦研修旅行を行いました。一日目は、午後一時に、貝塚中を出発し一路鬼怒川へと向かいました。疲れた体を温泉でいやし、貴重な一夜は、時のたつのも忘れ、唄い、踊り明かしました。二日目は、竜王峡、大谷石砕石場資料館を見学しました。

(川嶋 恒男)

交通安全対策部会

今年も全国の交通事故による死

亡が最悪の事態を迎えた。この現状を考えると、生徒達の事故を皆無にするためには運転者のマナーを向上させねばならない。そこで当部会は今年も交通の特別講習を企画実行した。今年でこの講習も五年目を迎え、かなり地域に浸透し参加者も増えてきた。一方、自転車による交通事故も軽んじられない。「無灯火、無理な追い越しはしない、させない」を是非守って欲しい。地区内での交通事故皆無を願っている。(榛沢 芳雄)

福祉部会

夏休み及び冬休みを重点に各学校と各地域の民生委員と提携して左記のような活動を実施しました。
夏休み 三名ずつ二班に分かれて各町内における盆踊りの見廻りと要保護世帯の夏季慰問全配布のときに生徒の生活の様子を観察した。
冬休み 各地域の民生委員へ機会ある度に生徒及び父子母子家庭に励ましの声をかけ様子を伺う様お願いをした。(野村 啓二)

写真①は炎天下でのグランドゴルフ大会風景 ②は育成委員会の親睦研修旅行に参加の面々。

貝塚中3年生の体験学習

郷土理解に土器づくり

作品は旅行先のお土産に

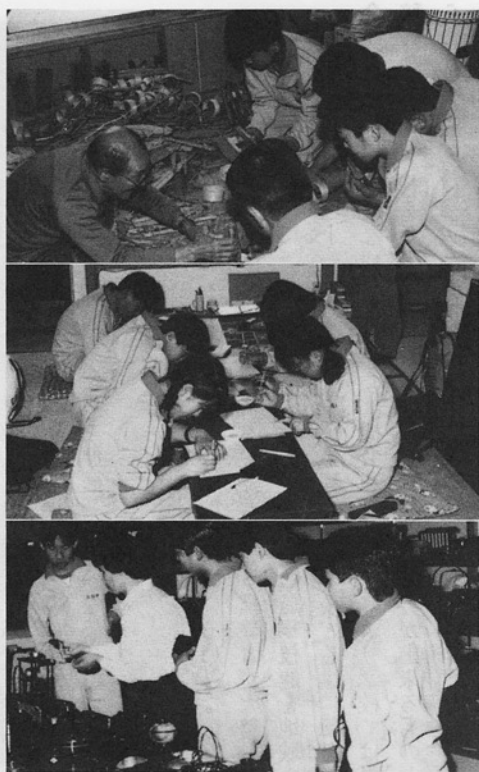
「お六ぐし作り」などを体験

貝塚中学校三年生は、加曽利貝塚博物館と、加曽利貝塚土器づくり同好会との指導と協力により、縄文土器づくりに挑戦、見事に焼き上げた。

毎年、県民の日になんで、全校生徒で貝塚公園の清掃を行っており、三年生は、貝塚にちなんだ

体験学習として土器づくりを採り入れている。「教わるだけでなく自らの体験学習の成果を」と修学旅行先にお土産として持参する。この修学旅行も体験学習を狙い

としており、旧中仙道の奈良井、萩原の宿場を訪ね、民宿に各班ごとに宿泊。土地の人たちの話を聞いたり、うるしの作業やおけなど



写真は縄文土器づくり、右が型づくり、左は焼きあげ終了

『桜の樹のつばやき』

貝塚中教師 皆川 隆

貝塚中に赴任して、はや七年目になります。

赴任当時ヒヨロヒヨロだった校門前の桜の木も、次第に葉を広げ幹を太くし、今年は葉っぱどうしが重なりあうようになりました。

貝塚中の歴史はこの桜の木と共に始まったのです。（この桜並木は土地の所有者である都町の石野為春さんから、子供たちのためにと、開校二年目の冬、ボンと二十本の苗木をプレゼントしていただいたもの）

楽しい事も・つらい事も・悲しい事もありました。

でもいつのまにか桜は貝塚中の大地に根を張り、たくましく成長しています。

多くの生徒と接し、時には怒り、時にははげましながら、人と人との輪を広げ、桜の木のように広く・深く結びつきたいと心底思う昨今です。



木を使った生活用具作りや、「お六ぐし作り」等を体験した。この木曾路での体験学習はすでにこととして六年目になり、貝塚中の生徒達を受け入れてくれる地元の人達や、観光協会などの関係者のあいだでも生徒たちの評判はとびきり良いそう。

体験学習・写真①は木工所での「ひしゃく」作り、②は工房での「沈金加飾」づくり、③は漆器店での「うるしぬり」作業。

人生経験者の 知恵を子ども達へ



貝塚中学校 校長
藤井 忠

九年後に訪れる二十一世紀の社会を担うのは、限らない可能性を秘めた今の子ども達です。これからの社会は個性重視、高度情報化国際化等、大きく複雑に変化していくものと思われまふ。

社会の変化に対応できるように子ども達の持つ持っている能力や適性を伸ばし、豊かな心を持つ人間に育てることが私達おとなに課せられた課題であると思います。

この地域にはいろいろな分野に人生の大きな経験者が大勢おられます。その知識や技能を地域の行事等を通して子ども達に伝える機会を作ることにより学校では得られぬ貴重な学習が出来るものと思います。



桜木小学校 校長
湯浅 隆

地域の活発な活動が 大きな成果を生んだ

貝塚中学区青少年育成委員会は田中会長さんを中心として、常に三校、各部長さん、諸団体の代表の方から実態報告等がなされ、実態を分析され、対策を練り青少年健全育成活動に励んでまいりました。

その成果として、地域の悪書の追放、シンナーの追放、特にシンナーの追放については、市内の健全育成活動の重点活動として、位置づけ、多大の業績をのこして参りました。

補導員の皆さん方のお骨折りで、夏休み中のキャンプにより、リーダー養成、会員の研修旅行等思い出の深い健全育成活動でした。次年度も本会の充実した活動を大いに期待しております。

「不良少年製造法」 お教えします



北貝塚小学校 校長
平野 静夫

家庭で、能力のある子を秀才に育てることはむずかしいことですが、不良少年をつくることはやさしいのでお教えします。

- 1 子どもの欠点をさがし、叱責を多くして決してほめないこと。
- 2 日によって極端に厳しくしたり、過保護にすること。
- 3 子どもの表面だけを見て、心の中までは理解しないこと。
- 4 子どもをけなすときは、同級生や兄弟を引きあいに出すこと。
- 5 夫婦げんかはなるべく子どもの前でし、教育は母親にまかせ父親は無関心でいること。
- 6 お年寄りのいる家庭では、年寄り古くてだめだということ。
- 7 受け持の先生の名前は呼び捨てにすること。

非行問題など皆無 で心づよく思う



貝塚中学校 教頭
茂呂 勇

昨年四月に着任早々、育成委員会の事務局を仰せつかり、過去の業績を知るに及び、責任の重大さを感じました。特に昨年は委員の改選期にあたり、四月の新委員の推薦、五月の定期総会と、始めは

無我夢中のうちに過ぎてしまい、皆様方には大変ご迷惑をおかけしたのではないかと思います。幸いにも、わが育成委員会は、田中会長の指導のもとに結束が強く、この一年間多くの行事が協力的に進められました。中でも夏休みの点検補導活動では延べ百二十名の方々の協力を得ることができました。お陰さまで、非行等の問題は皆無であり、心強い思いがしております。今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。